

Perry Rhodan Summer School 2007

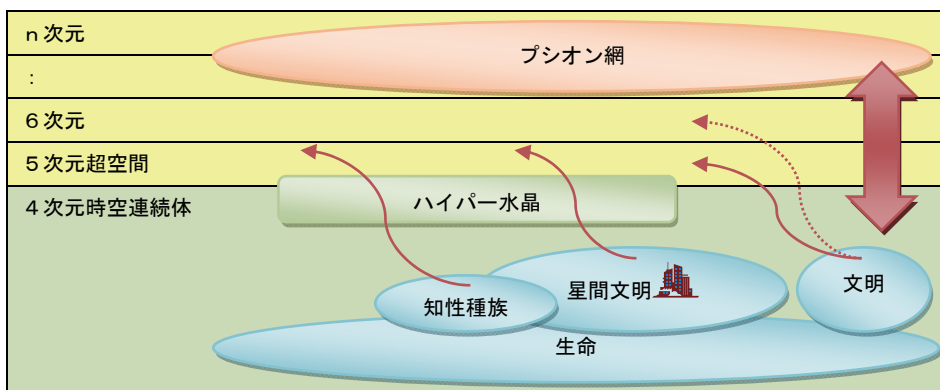
ペリー・ローダン夏期講習 2007

復習 1 宇宙

宇宙は多層構造で、低層の通常空間＝4次元時空連続体では物質と原始的なエネルギーが事物をなし、5次元、6次元……n次元の超空間には高次エネルギーがある。

通常空間の歪みである重力は、よく5次元超空間に干渉する。反対に、低層次元に突出した5次元エネルギーは通常空間に痕跡を残す。これら相互の干渉から生まれた通常空間のハイパー水晶は微小でも高次元の構造と相互作用する。超光速通信と超光速航行は、主にハイパー水晶を介して通常空間から高次空間を操作する技術である。

技術の進歩、文明のあり方は高次空間のあり方と相互作用する。特異な個体の精神と意識の構造は高次元と相互作用する。それゆえ、通常空間の生命、知性、文明はn次元超空間の高次エネルギー＝**プシオン**のあり方を変える。反対に、低層次元に突出したプシオン・エネルギーはプシ物質となる。住む者がたがいを理解し交流する宙域ではプシオン回路網が発達し、戦乱と荒廃が続べる宙域ではプシオン回路網が分断され瓦解する。



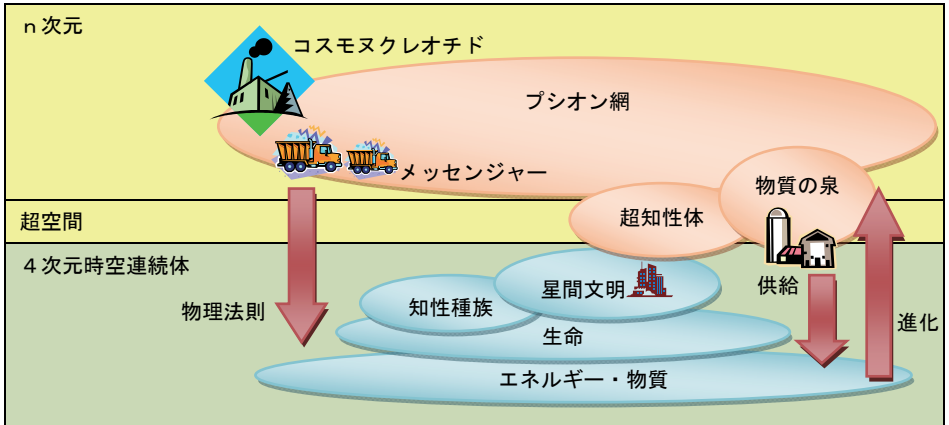
復習 2 秩序の勢力

宇宙開闢のとき、n次元に一連のプシオン製巨大装置**コスモクレオチド**が置かれた。コスモクレオチドは法則を内蔵し、メッセンジャープシオン場に物理法則を積載して供給する。物理法則は宇宙を規定し、物質、生命、知性、文明を生み、プシオン網を育む。文明は高次の力を理解しやがて**超知性体**を生む。超知性体はプシオン網を育みやが

て管轄宙域〈力の球形体〉のプシオン・エネルギーごと〈物質の泉〉に変わる。〈物質の泉〉が次に目指すのは**コスモクラート**と呼ばれる存在形態であり、コスモクラートは〈物質の泉〉と究極素を介して通常空間に干渉する。

コスモクラートの目的は明確である。コスモヌクレオチドと〈物質の泉〉が生まれるプロセスを維持するのだ。

この考え方に与するものの陣営が〈秩序の勢力〉である。



■これまで知られた秩序陣営の実動部隊

物質の下僕：コスモファブリクを指揮。①究極素を精製し②大群を建設する。コスモファブリクはカオテンダーと拮抗する戦力を有する機動要塞。

力強き者：孢子船を指揮。①^{ビオフィオル}搬生素を播き②大群を建設する。搬生素は物理定数を操作し生命進化を促進する量子。

大群：物理定数を操作し知性発展を促進する星団規模の装置。太古の〈原大群〉は搬生素播種の任も担っていた。

復習3 混沌の勢力

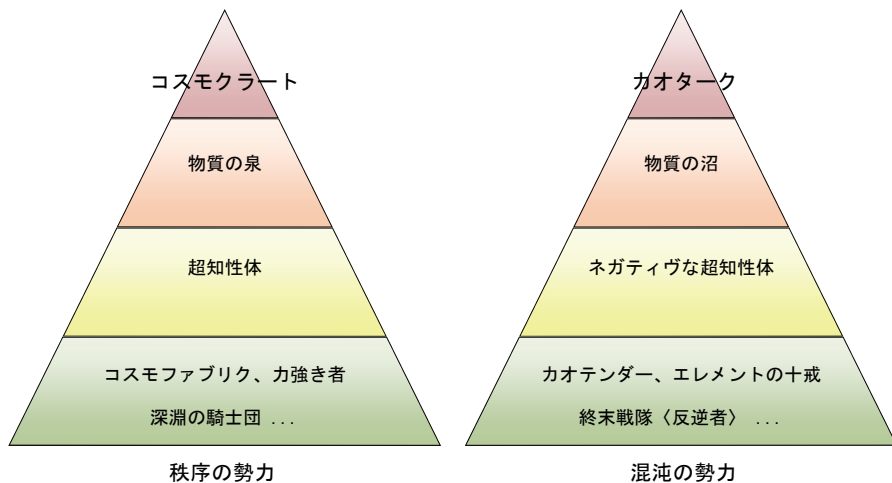
対して、コスモヌクレオチドの存在を忌避するものの陣営が〈混沌の勢力〉である。

〈混沌の勢力〉の頂点に立つのは**カオターク**。ネガティブな超知性体が〈物質の沼〉を経て次の段階に進んだ存在であるといわれる。

〈混沌の勢力〉はコスモヌクレオチドの干渉をはずれ、物理法則を失した〈負の球体〉

Negasphäre の形成を企図する。太古、かみのけ座銀河団のコスモクレオチド〈トリークレ9〉の喪失は〈負の球体〉を形成した。現在、局部銀河群にある異宇宙起源の銀河ハンガイに、新たな〈負の球体〉が形成されようとしている。

新銀河暦1344年、終末戦隊〈反逆者〉の大軍勢が局部銀河群に侵攻。銀河系とアンドロメダ銀河を資源採掘銀河として確保。両銀河を素材として、〈負の球体〉防衛のためのカオテンダー《ヴルタファー》の建造を開始した。



■これまで知られた混沌陣営の実動部隊

エレメントの十戒：かみのけ座銀河団の〈負の球体〉に依拠する超存在ヴァウペルティアが組織した軍勢。物理法則の欠如を体現する暗黒のエレメントが終局兵器。

カオテンダー：コスモファブリクと拮抗する戦力を有する機動要塞。搬死素^{ネクロフォル}を播く。パイロットは〈物質の下僕〉または〈力強き者〉級の存在。

■〈負の球体〉ハンガイ建設プロジェクト

カオターク：クズレイン Xrayn

└カオプレッサー Chaopressor：ネガティブな超知性体コルトロク KOLTOROC

└進歩維持者たち Progress-Wahrer：ビットヴェルトのアンタクルなど

└終末戦隊〈反逆者〉 TRAITOR：幾多の補助種族を編成した超大艦隊

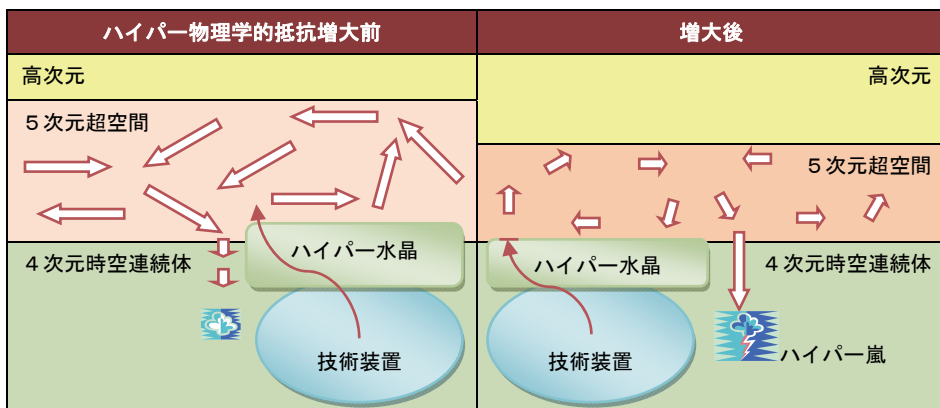
復習4 ハイパーショック——ハイパー物理学的抵抗の増大

コスモクラートは、かねてより生命・知性の繁栄と超知性体の飽和がむしろこの宇宙の〈物質の泉〉の誕生を阻害すると結論づけていた。新銀河暦1312年、コスモクラート・ヒスモームは、この宇宙のハイパー物理学的抵抗の増大を予告した。

新銀河暦1331年、物理定数変動の前線は強いハイパー嵐をともない局部銀河群に到達。世界は変貌する。5次元超空間の抵抗増大によりハイパー水晶は性能を落とし、極度に短命となった。5次元に依拠する高度技術はもはや十分に機能しない。超空間から通常空間へ汲み出していたほぼ無尽蔵のエネルギーが枯渇し、高エネルギー技術は放棄せざるを得ない。さらに続く荒天が迫打ちをかけ星間貿易は停滞する。

航行技術はメタグラヴ駆動からリニア駆動（以前より燃費・耐久性に難）に後退。銀河間航行は事実上不可能となった。転送機に動作不良が頻発し、射程が短くなったトランスフォーム砲は主力兵器の座を降りる。演算装置の分野ではシントロニクスが降板し、ふたたびポジトロニクスが主役を務める。重力制御技術にさして衰えは見受けられないものの、深刻化するエネルギー不足から安定稼働は望めない。テラニア市のシンボル、上空1kmに遊弋する太陽系政庁も、安全のため地表に降下させられた。

社会経済は混乱を極める。ハイテク失業者が巷に溢れ、ハイパー水晶相場は乱高下。安定を欠くようになったホワルゴニウム、ハイテク向けハイパー水晶クリーパスが急落し、性能は劣るが耐久性の高いカルムヴェットに高値がつく。



ハイパー物理学的抵抗増大前	増大後
ハイパー嵐の強度： 日常 27Meg／激しいとき 50Meg (最高記録 117.4Meg)	日常 50-80Meg／激しいとき 150Meg
シントロニクス Syntrons (超光速演算装置)	→機能しない。ポジトロニクスで代替
ハイパートロプ Hypertropzapfer (超空間からエネルギーを抽出する装置)	→機能しない
転送機 (アコン式)	→まともに動作しない
メタグラヴ駆動 Metagrav	→エネルギーを要するため利用できない
リニア駆動	→時速 57.1 光年 (短時間だけ可能な最高時速 114.1 光年) 航続距離 2300~2500 光年 ……但、ホーク I 型コンヴァータ

* Meg : メガノン・スカラーMeganon-Skala

■ハイパー物理学的抵抗の増大に対処する試み

自由テラナー連盟はハイパー物理学的抵抗の増大の対策組織として人類の叡智を結集したワリンジャー・アカデミーを創設。アルコン帝国では、首席科学者アクタクルのもとで対策が進められた。

プラエトリア：自由テラナー連盟の機動要塞。直径 2 5 0 0 m のジュピター級ウルトラ戦艦を司令塔として 1 辺 3 k m のポスピ船が 1 1 6 隻合体。新銀河暦 1 3 3 1 年、ハイパー物理学的抵抗増大後、初の大規模艦隊戦＝ハヨク星団におけるアルコン帝国艦隊との会戦では、重層バリアで敵艦に肉薄し数十隻分のトランスフォーム砲を同時砲撃する戦法で在来型重コンヴァータ砲を主砲とするグワロン級戦艦を圧倒した。

レインボー計画：新銀河暦 1 3 3 2 年 6 月のワリンジャー・アカデミーによる実験。実験船《レインボー》は直径 1 0 0 m のヴェスタ級巡洋艦の船殻の両極に巨大なパラボラ・アンテナ、外周に巨大な電池 1 0 基を装備。恒星ソルから抽出したエネルギーを惑星テラに送信する超太陽電池。

ハイパー通信リレー：ワリンジャー・アカデミーの成果。新銀河暦 1 3 3 1 年 1 2 月 3 1 日、新設したハイパー通信リレーにより、惑星フェェルと超光速通信再開。

H S ホワルゴニウム：寿命が短いホワルゴニウムをハイパー充電安定化 (H S) 技術

で安定化したもの。期待した性能を発揮できず、性能と信頼性が要求される箇所では、新銀河暦1344年以降、稀少鉱物サルクリットによってかわられた。

ホーク・コンヴァータ：長らく失われた技術だったカルブ・コンヴァータの復刻・改良版。ホーク I 型は効率低下を補正フィールド強化で補うが有視界航行の利点が失われた。ホーク II 型は補正フィールドを2層にして同時に重力推進を可能とした。ホーク III 型では補正フィールドを3層にして同時に操船性を向上させた。

状況転送機：アルコン帝国は状況転送機による数千光年規模の艦隊輸送技術を実用化。

フェロン式格子型転送機の改良と応用：自由テラナー連盟では比較的低エネルギーで安定稼働するフェロン式転送機の普及を促進。また、これを応用し、新銀河暦1344年には、恒星からエネルギーを抽出して稼働する星系間転送システムを実用化。(裏門計画)のもとにテラノヴァ・バリアの内外の連絡に用いられた。

ヴリトラ砲：KNK技術(標的との間をエネルギーチューブで接続しエネルギーを送る)を応用した改良コンヴァーター砲。

エッシャー：ポジトロニクスに生きた人間精神を接続し、シントロニクス級の性能を実現する実験だが、高次存在の計画に組込まれ当初の目的を逸脱することになった。

新銀河暦1331年にはじまる〈星海〉諸種族との接触、超存在ゴン・オルボンとの対立において判明したことだが、コスモクラートの物理定数操作は主として低次文明が基盤とする5次元に向けられたものだった。6次元技術を駆使する超高度文明、プシオンを操る超知性体級の存在に、さしたる影響はなかったのである。

■超知性体アルケティム

2000万年前の銀河系を統治した超知性体。〈負の球体〉形成を阻止する戦いに参戦したが負傷・疲弊して活動停止。遺骸は恒星ソルの内部に葬られた。

新銀河暦1330年代、大マゼラン星雲の超存在ゴン・オルボンはアルケティムの遺骸を高次元エネルギー源として利用した。

要点1 テラノヴァ Terranova

クリスタルバリアは、もともとアルコン帝国が開発した星系防衛バリアである。恒星から噴き出す太陽風を高次元領域で操作し^{ヘリオスフェア}太陽圏の外縁=^{ヘリオポーズ}太陽境界面に水晶のように青白く輝くフィールドを展開、触れたものをパラ現実に投げこむものだが、ハイパーシ

ヨック以来、作動は不可能といわれていた。

自由テラナー連盟はこの不可能を可能とするために、ロレッタ級テンダー96隻からなるテラノヴァ艦隊を建造。大量のエネルギーを恒星から抽出し、ホワルゴニウムの代わりに安定させたHS-ホワルゴニウムを用いようというのだ。だが、HS-ホワルゴニウムでは必要な性能が発揮できない。前途は多難だった。

新銀河暦1344年、終末戦隊〈反逆者〉の大軍勢が局部銀河群に侵攻。6次元を技術基盤とする〈反逆者〉艦隊に対し、自由テラナー連盟が実用化した6次元技術は観測装置〈カウンター型六分儀^{セクスタント}〉のみ。自由テラナー連盟は敵陣の油断を突き奇策を弄してかろうじて初戦を勝ち取るが、次の攻勢を防ぐ術はない。

新銀河暦1344年9月26日、〈反逆者〉の斥候がソル系外縁に出現し事態は急を告げる。10月6日、ようやく銀河系中央部のカロン星団から最後の頼みの綱=希少なハイパー物質サルクリット（太古の超種族の心臓の化石）5kgを積んだ探査船が到着する。サルクリットをロレッタ級テンダーに搭載することで、クリスタルバリア展開に成功。このテラノヴァ・クリスタルバリアは、最後のところで〈反逆者〉の黒いオペリスクの侵攻を退ける。ただし、わずか1時間の防衛でサルクリット2kgを消費し、以後、技術陣の効率改善の苦闘が続く。

10月14日、惑星テラに〈ニュークリアス〉が到着。〈ニュークリアス〉は、かつてテラナーから生まれたモノクローム・ミュタントたちの意識集合体で、〈負の球体〉形成がはじまったこの宙域に秩序陣営がようやく送りこんだ援軍である。

10月17日、〈反逆者〉64隻の攻撃——テラノヴァ・バリア防衛成功。

11月2日、〈反逆者〉242隻の攻撃——テラノヴァ・バリアは揺らぐが、〈ニュークリアス〉が恒星ソルの超知性体アルケティムの遺骸から6次元エネルギーを抽出しテラノヴァ・バリアを補強したことで安定を回復。防衛成功。同時期、〈裏門〉星系間転送回廊の安定運用開始で、サルクリットの供給路が確保される。

新銀河暦1345年2月3日、8712隻の集中砲火——テラノヴァ・バリア、限界一杯ではあるものの防衛成功。〈ニュークリアス〉に疲弊の気配。

2月10日、1万7424隻の集中砲火——折しも、サッカー・ソラー・カップ決勝「ルナ・レヴィテーター×アジア・デルヒ戦」に熱狂したソル系住民の精神ポテンシャルに後押しされ、〈ニュークリアス〉はテラノヴァ・バリアを支えきる。防衛成功。

首都テラニア〈マゼラン・スタジアム〉で、志願者 Die Spender 数万人をヒュプノ昏睡状態に置き、高揚させた精神ポテンシャルを〈ニュークリアス〉に伝送する実験開

始。若干の志願者に心臓発作。

以後、同等の施設〈テラノヴァ・ガソリンスタンド〉Terranova-TANKSTELLENを各地に建設。しかし、敵艦の集中砲火時にテラノヴァ・バリアが部分的に安定を欠く事態が相次ぐ。時折、敵艦が擦りぬけるが、本国艦隊が個別撃破して対応。

5月23日、ロレッタ級テンダー追加配備（計108隻）——テラノヴァ・バリアの揺らぎを解消。

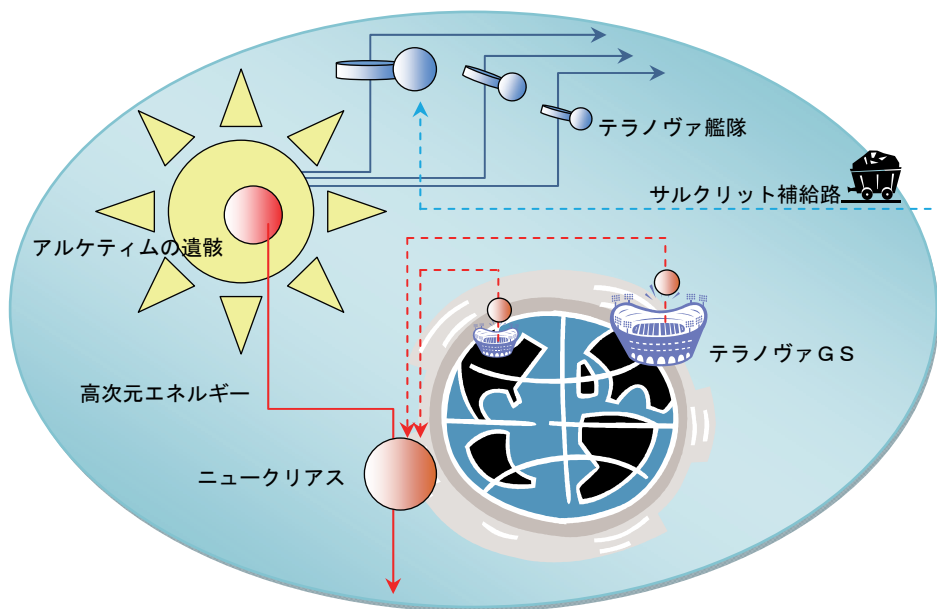
6月1日、〈テラノヴァGS〉計85基。あいかわらず、一定率の志願者に心臓発作が発生するが、政府は将来4000基、動員数1430億人を目標にすると発表。

7月23日、〈テラノヴァGS〉計345基。

8月5日、〈テラノヴァGS〉計800基。〈テラニアGS〉すなわち最初のGSである首都テラニアの〈マゼラン・スタジアム〉で、サルクリット共振器による精神ポテンシャル伝送の効率改善実験。出力数倍。しかし、心臓発作も同程度増加。

8月14日16時35分、〈反逆者〉は大規模な増援をうけて25万9424隻の集中砲火——出力数十倍の改良サルクリット共振器により防衛成功。

新銀河暦1346年2月にいたるまで、テラニア・バリアは、多数の市民の犠牲の上に、ソル系を防衛している。

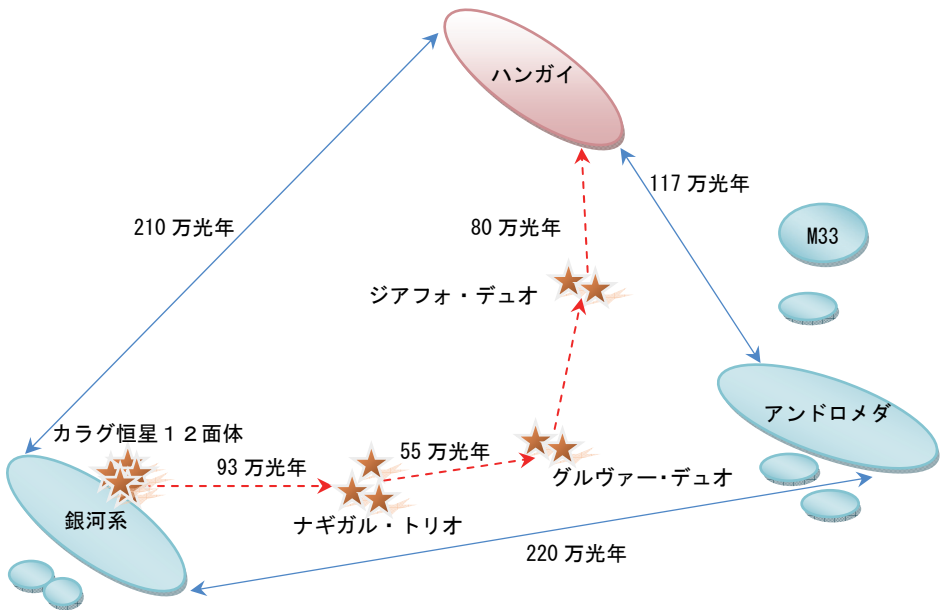


要点2 恒星転送機 Sonnentransmitter

新銀河暦1333年、自由テラナー連盟は超存在ゴン・オルボン攻略のため、距離17万光年の大マゼラン星雲に進軍した。このとき発見者級艦《リチャード・バートン》は、直径1800m船殻の外に一辺3kmの立方体ブースターを装着、補給駅を経由し、5カ月をかけてようやく踏破した。

しかし、新銀河暦1343年に銀河系に侵攻した〈混沌の勢力〉、その中枢＝〈負の球体〉に変じようとしているハンガイ銀河は、銀河系から210万光年の距離にある。

かくして、レムール人の恒星転送機を利用しハンガイ銀河攻略の橋頭堡を築く作戦が立てられた。新銀河暦1345年、アトラン指揮下のコンビトランス艦隊は、惑星テラから1万6856光年の球状星団ケンタウルス座オメガの巨大恒星転送機〈カラグ恒星20面体〉を発進。新銀河暦1346年2月、銀河間虚空の恒星転送機ナギガル・トリオへ、さらに銀河間虚空の恒星転送機グルヴァー・デュオへ、最終的にハンガイ銀河まで80万光年の恒星転送機ジアフォ・デュオへの経路を確保した。



恒星転送機	所在地	距離	備考
銀河系中央六角形	銀河系中央部	3万 1930 光年	西暦 2405 年破壊
ウルブラダン・トリオ	銀河系、ハヨク星団 (第21タマニウム)	9220 光年	5 万年前破壊
ツラブチャ・トリオ	銀河系(第33タマニウム)	2万 1656 光年	
カラグ恒星十二面体	銀河系、球状星団ケンタウルス 座オメガ(第38タマニウム)	1万 6856 光年	
テロクス・デュオ	銀河系、 球状星団ケンタウルス座オメガ	1万 7000 光年	
モランク・デュオ	銀河系北西域の暗黒星雲 (第44タマニウム)		
ペルパン・デュオ (コルサル)	銀河系 (第64タマニウム)	2万 7356 光年	紀元前 8000 年破壊
ダディオ・トリオ	銀河系サウスサイドの暗黒星雲 (第76タマニウム)		
テルガム・トリオ (アルキ・トリトランス)	銀河系中央部 (第81タマニウム)	4万 0831 光年	
ヴェンギル・トリオ	銀河系北東域の暗黒星雲 (第83タマニウム)		
テムール恒星五角形	銀河系、テムール暗黒星雲 (第103タマニウム)	7万 7810 光年	
マルゴ・トリオ	銀河系イーストサイド (第105タマニウム)	7万 8300 光年	
ミサーム・デュオ	銀河系イーストサイド、シムバン 星域(第110タマニウム)	8万 0701 光年	西暦 2422 年破壊
クロッホ・デュオ (散弾転送機)	銀河間虚空	178 万光年	
ジアフォ・デュオ	銀河間虚空	177 万光年	ハンガイから 80 万 光年
シェアッド・デュオ (ツイン)	銀河間虚空	93 万光年	西暦 2401 年制御惑 星破壊

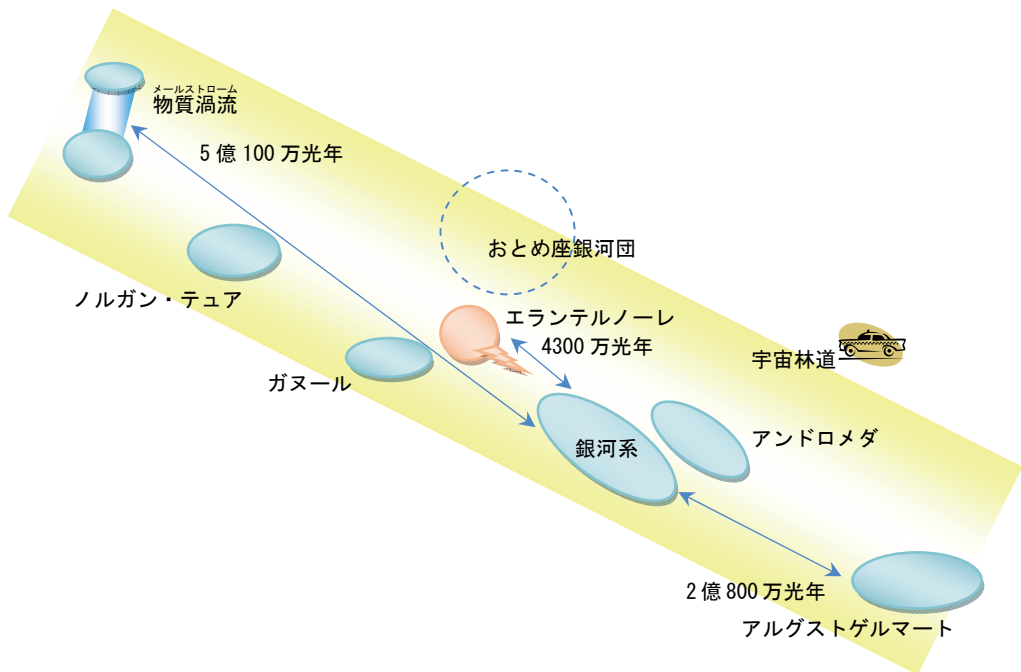
ゼサネス・トリオ	銀河間虚空	94 万光年	
ドリイル・トリオ(ホラー)	銀河間虚空	92 万光年	
トルロ・デュオ	銀河間虚空	96 万光年	
ナギガル・トリオ	銀河間虚空	93 万光年	
ブラエール・デュオ (グルヴァー・デュオ)	銀河間虚空	136 万光年	
マチド・トリオ	銀河間虚空	178 万光年	
アンドロメダ六角形	アンドロメダ銀河中央	219 万光年	西暦 2405 年破壊
ニュソール五角形 (ゲルクスヴィラ)	アンドロメダ銀河	214 万光年	
アルファ・ツェントラ	アンドロ・アルファ中央	200 万光年	西暦 2404 年破壊
ユグロア・トリオ (アンドロ・ベータ三角)	アンドロ・ベータ中央	200 万光年	西暦 2402 年破壊
ザクラーン・トリオ	アンドII銀河	176 万光年	
アキア・トリオ	こぐま座銀河	23 万光年	
チュアン・トリオ	ちょうこくしつ座銀河	27 万光年	
エクローズ・トリオ	りゅう座銀河	23 万光年	

要点 3 宇宙林道 Universale Schneise

平和ドライバーは、ハイパー物理学的抵抗の増大の中でも宇宙林道の〈四半分の力〉を利用して自在に銀河間航行をおこなう汎銀河組織。

330万年前、コスモクラートは〈物質の泉〉ゴウルデルをエランテルノーレ銀河に移設。〈物質の泉〉ゴウルデルは9基の噴出孔のうち7基を〈トレゴン〉本拠があるメールストローム〈物質渦流〉に向けた。20万年前、〈物質の泉〉ゴウルデルは9基の噴出孔を孢子船《パン・タウ・ラ》が隠されたアルグストゲルマート銀河に向ける。宇宙林道はこれら〈物質の泉〉ゴウルデルの活動によりプシオンの充電された宙域で、〈物質渦流〉、エランテルノーレ銀河、アルグストゲルマート銀河を結び全長7億900万光年に及ぶ。

新銀河暦1345年現在、平和ドライバーは〈負の球体〉へと変じつつあるハンガイ銀河のハローに前線基地を設営し、哨戒活動をおこなう。ハンガイ銀河内域には、すでにハイパー物理学的抵抗の増大以前にテラナーの巨船《ソル》が潜入しているが、かれらとの連絡はまだ実現できていない。



要点 4 負の球体 Negasphäre

「負の球体」は、2400話に始まる新サイクルの名称。

■目標時間

西暦2007年8月17日刊行の2400話の著者は Robert Feldhoff。表題は Zielzeit 『目標時間』である。

Perry Rhodan Summer School 2007
ペリー・ローダン夏期講習 2007

2007/9/2 y.wakabayashi

e-mail: yw@rlmdi.org